

山火事の防止について

山火事の約7割が春先（1月～5月）に集中して発生しています。

原因としては、①下草や枯れ落葉が堆積している。②降雨量が少なく空気が乾燥している。③強風が吹きやすい時期である。などの環境要因が挙げられます。さらに、春先は山菜採りやハイキングなどで入山者が増える季節です。入山者によるたき火や、たばこの不始末なども火災の要因となっています。



山火事を起こさないために！

- ・火遊びはしない、させないこと。
- ・火を使用した際には、必ず消えたことを確認すること。
- ・たばこの不始末、ポイ捨てをしないこと。
- ・ゴミは指定の場所に捨てるか、持ち帰ること。

日本では山火事はどの位発生しているの？

平成30年から令和4年の平均でみると、1年間に約1,300件発生し、焼損面積は約7百ヘクタール、損害額は約2.4億円となっています。これを1日あたりにすると、全国で毎日約4件の山火事が発生し、約2ヘクタールの森林が燃え、約70万円の損害が生じていることになります。

南三陸町 消防団員募集

「もしも」の時のために、地域の一員として。私らしく。私たちはなれる。

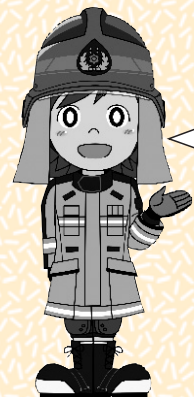
消防団は、個々の職業を持つかわら「自分たちのまちは自分たちで守る」を合言葉に、地域の皆さんとふれあひながら、安心・安全なまちづくりの実現に努力しています。

▶消防団員の待遇 消防団員は、権限と責任を有する非常勤の地方公務員です。活動中に負傷した場合などには、公務災害などの補償が受けられます。

また、年報酬や出勤手当、5年以上勤めると退職報償金が支給されます。

▶入団資格 町内在住の18歳以上心身ともに健康な方であれば入団資格を有します。

消防団に興味を持たれた人や、消防団への入団を希望する人は南三陸町総務課危機対策係（☎46-1376）までご連絡ください。



みなトシ

～南三陸のたからもの～



ご存知ですか？
文化財保護のこと

フクジュソウ

フクジュソウは、北海道から本州の山や林の少し湿った場所で見られる植物です。漢字では「福寿草」と書き、新年を祝う花としてお正月に飾られることから、「ガンジツソウ（元日草）」「ツイタチソウ（朔日草）」とも呼ばれます。春一番に咲き始める春告げ花で、日当たりのよい場所では2月頃から咲き始め、3月が花の盛りです。花は鮮やかな黄色で、太陽の光を集めるために盃（さかずき）のような形をしています。また、日が当たると上向きに開き、夕方よくもりの日は花を閉じる特徴があります。葉は深く細かく切れ込まれた羽のような形をしており、花が咲く時期は小さく目立ちませんが、花が終わると大きくなります。写真は、入谷信倉で撮影されたフクジュソウです。

土地に埋もれている昔の建物跡やそれに伴う土器・石器などは町の大切な文化財です。一旦壊してしまえば二度と元に戻すことができません。これから住居の新築や土地の造成・改良などをお考えの場合は、必ず教育委員会にご連絡ください。

☎ 教育委員会事務局 生涯学習係 ☎46-1341

消防からのお知らせ

南三陸町総務課危機対策係
南三陸町志津川字沼田101 ☎46-1376

南三陸消防署
南三陸町志津川字新井田34-4 ☎46-2677

南三陸消防署歌津出張所
南三陸町歌津字枳沢28-1 ☎36-2222

春季 火災予防運動

3月1日(土)～3月7日(金)

令和6年度全国統一防火標語

守りたい 未来があるから 火の用心



防火キャラバンが町内を巡回します

春の火災予防運動中に、町内の皆さまに火災予防思想の一層の普及と出火防止を広く呼びかけ、安全安心な生活の確保に資することを目的とし、2月28日(金)にベイサイドアリーナを出発点として、広域消防車両および南三陸町消防団車両、危険物安全協会車両が町内の各地域を巡回する「防火キャラバン」を実施しました。



協力 南三陸町消防団・南三陸町婦人防火クラブ連合会・危険物安全協会南三陸支部・南三陸町防火管理者協会

細浦地区・蛇王地区・葦の浜地区・寄木地区を対象に防火訪問を実施します！

訪問日程 3月1日(土)～31日(月)

対象地区 細浦地区・蛇王地区・葦の浜地区・寄木地区

訪問内容 「住宅用火災警報器の設置・維持管理について」、「火災予防全般について」※玄関先での聞き取り調査となります。

その他 不在の場合は火災予防チラシを投函させていただきますので、ご活用ください。



住宅防火10のポイント

